

# 「丘珠空港の利活用に関する検討会議」報告書

## 住民説明会及び意見交換会

### 第8回 開催報告

#### 議事概要

対象地域：太平百合が原連合町内会の地域

開催日時：平成30年11月6日（火）19：00～20：30

開催場所：内外太平会館

（札幌市北区太平10条4丁目8-17）

参加者数：市民28名（地域の方21名、地域以外の方7名）、  
札幌市（事務局）3名、北海道（オブザーバー）1名、  
道銀地域総合研究所（事務局）4名 計36名



#### 1. 開会挨拶

（札幌市より挨拶）

#### 2. 出席者の紹介

（事務局紹介）

#### 3. 「丘珠空港の利活用に関する検討会議」報告書の説明

（札幌市より説明）

#### 4. 意見交換

<地域の方より>

○ご意見

##### 【利活用の検討の進め方について】

- ・延長ありきというような偏った考え方をせず、皆さんの納得できるような丘珠の利活用の方法を考えてほしい。
- ・関係者会議というのは、懸念派の意見をあまり酌まない人が選ばれる傾向にあるため、市民委員は公募の方法をとった方が間違いない。
- ・市民参加の会議もお金がかかる話であり、それよりも市民の代表の市議がいるので、市議会等で検討いただければよい。

- ・空港は複数あると良く、札幌は政令都市で人口196万人であり、札幌にも千歳にも空港があることで、常時お互いスペアとして機能し、カバーできる。人口減少により税収が減り、インバウンドで稼ぐしかなく、対策をとらなければ都市間競争にも負けていく。その恩恵は全体に受けるのだから、反対の方も協力し取り組まないと取り残される。
- ・来年度以降開催予定の丘珠空港利活用検討関係者会議が市民の多様な意見を包含したものとするために、市民の委員を公募で募ることは必要不可欠である。

#### 【利活用策について】

- ・大都市札幌の現状を踏まえた交通体制は必要だ。2013年のFDAのテスト飛行に乗って、中部国際空港まで行ったが、騒音等は乗ってみて感じなかった。ジェット機もかなり技術が進歩している。
- ・医療ヘリの離発着が各病院の屋上にも設けられており、丘珠ばかりに頼っているわけではない。
- ・滑走路延伸について、今後の精査で概算整備事業費がさらに膨らむ可能性があり、のちの世代に負担を負わせることがない身の丈に合った利活用にすべき。また、道内7空港の民間委託の内容や2030年度に予定されている札幌市新幹線開業から受ける影響を踏まえての検討が必要である。
- ・全域停電をもたらした胆振東部地震の経験から、今後さらに自然災害に強い空港への転換を図るべきである。
- ・説明によると、丘珠空港の利活用策の21項目のうち、滑走路延伸により可能なものが4項目、現在の滑走路可能なものが17項目であったが、もっと工夫し、現在の滑走路で何か出来ることがないか、さらに検討が必要である。
- ・今後、ロシアとの国交回復等も考えると、そちらともつながりを持つ必要が出てくる。
- ・世界中の都市の空港を見ると、中心から空港までのアクセスがきちんとしている。滑走路を延長し便が増えても、アクセスがきちんできていないとその次の段階に進まないため、前向きに進めてもらいたい。

#### 【空港周辺の環境について】

- ・過去のジェット化の議論の際、私達の地域では反対運動を起こし、運輸省や防衛省等に何度も行き、騒音被害を伝え、何とかジェット化は阻止できた。騒音について、1機でいえば国の基準よりもずっと大きいと思う。直下にいる住民としては、24時間の平均で数値を算出する方法がなかなか受け入れられない。
- ・ジェット機の方が音は静かで、進入角が急角度のため、騒音の時間はプロペラ機に比べ短い。確かに離発着時の音は凄いが、単に騒音レベルの数値だけではなく、時間の長さからいえば、ジェット化されたからといって大きな問題はない。
- ・実際に騒音で大変なのは、航空ショーやヘリコプターが群れて演習等を行っているときで、日常的には今は建物や窓がしっかりしていて音の影響も小さくなり、テレビ画面への影響もない。飛行機がジェット化されて非常に困ったということは一つもない。

- ・滑走路1,500mで十分間に合う飛行機があるので、現状のままで生活したい。オスプレイが来たら、この地域の上空を飛ぶことで被害や事故があると届け出ている。
- ・騒音調査について、24時間測定した数値の平均値を測定値とする現在の実施方法は不適切である。いつ、どこで、どんな機器を使用し測定したか、また、測定場所や測定時間の選定の根拠について、市HPで公表することを求める。
- ・飛行ルート下における地域、特に幼稚園、保育所、学校、老人施設、病院等への安全対策面の配慮は不可欠である。今後、滑走路延伸に伴い、新たな影響を受けると予想される建物は無いのか。

#### 【本説明会の運営について】

- ・この会場は場所が少し離れており、被害を受けている高齢の人達の声も聞くよう今後配慮してほしい。もっと細やかに声を聞いていただきたい。他会場では年をとってきて耳が聞こえなくなったから、幾ら飛ばしてもいいというような意見があったが、私達直下の人間はそんなことは言っていない。

#### 【その他】

- ・昭和51年から住んでいるが、元々住む前から丘珠空港があり、昔の方が遥かに便数が多かった。

#### ○ご質問

##### 【利活用策について】

- ・滑走路の延長は整備される方が良く考えているが、増便との関係はどうか。滑走路延長が無くても可能なか。また、延長によってどれほど経済効果があるのか。  
(回答) 運用時間の見直しは延長と必ずしも関係しておらず、夜間の時間を伸ばしたいとHACから要望が出ているが、今のプロペラ機で、道内であれば滑走路の延長はしなくても増便は可能である。仮に滑走路を伸ばすとビジネス需要が増えるだろうが、まだ経済効果の算定には至っていない。

##### 【整備に関わる費用について】

- ・滑走路延長の費用が大き過ぎる。過去の100m延長の費用はいくらかかったのか。費用対効果を考えると、お金をかけて、騒音に悩まされ、住民には大したメリットがない。  
(回答) 滑走路100m延長の整備費用は国が79億円で整備しており、一部を札幌市が負担している。その他周辺環境整備があり、緩衝緑地帯の整備費用は180億円であり、北海道と札幌市で整備した。
- ・近年、箱物ばかりつくり、空港も一種の箱物で、そのようなことを市民はあまり望んでいないのではないか。  
(回答) インフラ整備も札幌市として必要なものと考えているが、現在はまだ案であり、皆さんの意見を伺っていく。

<地域以外の方より>

○ご意見

【空港周辺の環境について】

- ・子育ての代表として、現状でも子どもたちが飛行機の音で不安定になったり、お母さんも不安に思っていたりすると聞いており、そのことも踏まえていただきたい。

○ご質問

【利活用の検討の進め方について】

- ・1回目の関係者会議について、その内容や委員をきちんと教えてあげた方がよいのではないかと。何か勘違いして、これからスタートすると考えている方がいる。

(回答) 関係者会議は、第1回目が10月31日に開催された。年3回程度を予定し、関係者として、地域住民からは空港周辺の町内会長、有識者としては大学教授3名、空港関係者としては HAC、FDA、空港ビルという方々で構成している。来年度以降、同様に検討が必要であり、その際に、公募という意見をいただいていると認識している。

5. 閉会

以上